



## 2019年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年6月7日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東  
 コード番号 7983 URL http://www.miroku-jp.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弥勒 美彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 古味 俊雄 (TEL) 088-863-3310  
 四半期報告書提出予定日 2019年6月14日 配当支払開始予定日 2019年7月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年10月期第2四半期の連結業績(2018年11月1日～2019年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第2四半期	7,569	12.9	697	14.7	761	6.5	565	△2.8
2018年10月期第2四半期	6,706	2.9	608	△8.5	714	△4.6	581	19.3

(注) 包括利益 2019年10月期第2四半期 614百万円( 18.2%) 2018年10月期第2四半期 519百万円( △2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第2四半期	194.64	—
2018年10月期第2四半期	200.21	—

※当社は、2018年5月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年10月期第2四半期	17,669	13,143	74.4
2018年10月期	16,534	12,603	76.2

(参考) 自己資本 2019年10月期第2四半期 13,143百万円 2018年10月期 12,603百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	4.00	—	25.00	—
2019年10月期	—	25.00	—	—	—
2019年10月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2018年5月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2018年10月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年10月期の1株当たり年間配当金は45円00銭となります。

## 3. 2019年10月期の連結業績予想(2018年11月1日～2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	11.0	950	△0.5	1,080	△1.6	800	△2.1	275.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年10月期2Q	3,005,441株	2018年10月期	3,005,441株
② 期末自己株式数	2019年10月期2Q	100,473株	2018年10月期	100,317株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年10月期2Q	2,905,058株	2018年10月期2Q	2,905,462株

※当社は、2018年5月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※2019年10月期第1四半期より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、引き続き緩やかな回復基調が続きました。一方海外情勢においては、景気は緩やかに回復しているものの、米国の通商問題が世界経済に与える影響や英国のEU離脱問題の動向による景気の下振れリスクが懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,569百万円(前年同期比12.9%増)、経常利益は761百万円(前年同期比6.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は565百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 猟銃事業

主力製品である上下二連銃及びボルトアクションライフルの販売数量は、米国市場を中心に引き続き堅調に推移しておりますが、その他の銃が減少したため、全体としての売上高は前年同期を若干下回りました。利益面につきましては、付加価値の高い製品の販売が安定した状況にあり、前年同期比微増となっております。その結果、売上高は3,845百万円(前年同期比1.6%減)、セグメント利益(営業利益)は428百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

#### ② 工作機械事業

主力三部門の売上高につきましては、加工部門が前年同期をやや下回ったものの、機械部門の受注は依然として高水準を堅持し、またツール部門におきましても前年同期並みに推移いたしました。利益面につきましては、機械部門で高価格製品の販売が奏功したことにより、前年同期を上回りました。その結果、売上高は1,555百万円(前年同期比17.4%増)、セグメント利益(営業利益)は392百万円(前年同期比25.1%増)となりました。なお、売上高につきましては、セグメント間の内部売上高5百万円を含んでおります。

#### ③ 自動車関連事業

昨年度から生産開始した部分ウッドステアリングハンドル及び全周革ステアリングハンドルは生産も安定し、好調な販売を継続しております。一方、付加価値の高い純木製ステアリングハンドルの販売が減少したことから、利益面につきましては前年同期比で減少しております。その結果、売上高は2,170百万円(前年同期比46.4%増)、セグメント利益(営業利益)は2百万円(前年同期比60.2%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて1,134百万円増加し、17,669百万円となりました。

これは、主に現金及び預金の増加769百万円、たな卸資産の増加370百万円等によるものであります。

#### (負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて594百万円増加し、4,526百万円となりました。

これは、主に賞与引当金の増加275百万円、長期借入金の増加400百万円等によるものであります。

#### (純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて540百万円増加し、13,143百万円となりました。

これは、主に利益剰余金の増加491百万円等によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2018年12月14日に公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,256,943	3,026,148
受取手形及び売掛金	1,982,099	1,986,878
たな卸資産	3,876,396	4,247,198
その他	298,776	283,226
貸倒引当金	△492	△168
流動資産合計	8,413,723	9,543,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,457,831	1,415,814
機械装置及び運搬具(純額)	1,411,771	1,423,968
土地	1,687,995	1,687,995
その他(純額)	152,126	156,353
有形固定資産合計	4,709,725	4,684,131
無形固定資産		
	51,219	40,307
投資その他の資産		
投資有価証券	2,689,372	2,768,009
その他	683,675	646,854
貸倒引当金	△12,980	△12,980
投資その他の資産合計	3,360,067	3,401,883
固定資産合計	8,121,012	8,126,322
資産合計	16,534,735	17,669,605

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,020,274	1,175,150
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	700,000	700,000
未払法人税等	270,046	279,792
賞与引当金	150,599	425,889
役員賞与引当金	31,812	12,585
その他	667,362	466,533
流動負債合計	2,940,096	3,059,952
固定負債		
長期借入金	—	400,000
役員退職慰労引当金	151,782	155,578
退職給付に係る負債	607,786	650,270
その他	232,056	260,454
固定負債合計	991,624	1,466,303
負債合計	3,931,720	4,526,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	519,703	519,703
利益剰余金	10,826,279	11,317,817
自己株式	△79,622	△79,904
株主資本合計	12,129,486	12,620,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	437,639	488,779
為替換算調整勘定	35,889	33,826
その他の包括利益累計額合計	473,528	522,606
純資産合計	12,603,015	13,143,349
負債純資産合計	16,534,735	17,669,605

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)
売上高	6,706,576	7,569,480
売上原価	5,486,513	6,279,795
売上総利益	1,220,062	1,289,684
販売費及び一般管理費	611,913	591,911
営業利益	608,148	697,773
営業外収益		
受取配当金	10,149	12,262
持分法による投資利益	46,074	17,469
助成金収入	21,879	1,164
その他	30,737	34,981
営業外収益合計	108,841	65,879
営業外費用		
支払利息	1,323	1,536
その他	1,060	842
営業外費用合計	2,384	2,378
経常利益	714,605	761,273
特別利益		
受取保険金	62,516	95,732
補助金収入	81,900	2,664
特別利益合計	144,416	98,397
特別損失		
固定資産除却損	2,458	2,382
特別損失合計	2,458	2,382
税金等調整前四半期純利益	856,564	857,287
法人税等	274,863	291,836
四半期純利益	581,700	565,451
親会社株主に帰属する四半期純利益	581,700	565,451

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
四半期純利益	581,700	565,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,564	67,893
為替換算調整勘定	△3,103	△1,151
持分法適用会社に対する持分相当額	△126	△17,663
その他の包括利益合計	△61,794	49,078
四半期包括利益	519,906	614,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	519,906	614,529



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,906,913	1,314,792	1,482,665	6,704,371	2,204	6,706,576	—	6,706,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,353	—	10,353	—	10,353	△10,353	—
計	3,906,913	1,325,145	1,482,665	6,714,724	2,204	6,716,929	△10,353	6,706,576
セグメント利益	420,310	313,749	5,826	739,886	631	740,517	△132,369	608,148

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額△132,369千円には、セグメント間取引消去1,233千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△133,602千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,845,544	1,549,696	2,170,982	7,566,222	3,258	7,569,480	—	7,569,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,599	—	5,599	—	5,599	△5,599	—
計	3,845,544	1,555,295	2,170,982	7,571,821	3,258	7,575,079	△5,599	7,569,480
セグメント利益 又は損失(△)	428,370	392,473	2,319	823,162	△2,098	821,064	△123,291	697,773

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△123,291千円には、セグメント間取引消去2,301千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△125,592千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。